



月刊 おおとこ協力隊 新聞

大鳥の山文化を感じる…悪魔払い。

大鳥に来た頃にとろどころの玄関に『悪魔払い』というお札が貼ってあることに疑問を持ち続けていましたが、ようやく理解できました。大鳥に来てからというもの、昨年末に行った『山の神』もそうですが、山に入る者の心構え、里山での生き方をいつも教えられます。

掌握しきれない恵みと脅威をもたらす山々に刃向わず、したたかに暮らす中で感謝し、祈りを捧げる日々…。それらを昔からずっと体現し続けている大鳥人は本当にスゴイです。これからも僕の先生でいてください…。

あと、タラ汁、最高に美味しかったです。まだ、僕のお腹にはタラ汁が入るくらいのスペースは余裕でありますよ♪(田口)



雨模様もなんのその！大鳥タキタロウ村冬まつり開催！

大鳥の冬を満喫できるイベントが今年も開催。2月初旬の朝日には珍しい雨模様となりましたが、多くの方々にお越しいただきました。

子供たちは雪すべりやスノーモービル体験、立派な地中(?)かまくらづくりなどなど元気いっぱい楽しんでいました。

大人たちは館内で甘酒や炭で炒った焼き栗に舌鼓を打ちながら賑々しく歓談、昼食はちらし飯や鴨汁など大鳥の冬を感じるメニューを皆でいただきました。

冬でも楽しめることがたくさんある。そんなことを改めて感じるイベントでした。(砂山)



田口隊員連載コラム 「大鳥に恋して♪」

雪国で生きるのは容易でない！横浜に住んでいた頃は気に掛けるまでもなかった、除雪・水道凍結・雪道の運転・灯油代・寒くて寝れない…など。生活のハンデが大きすぎます。1年目にして暮らしぶりの違いから洗礼を受けまくってボロ雑巾となった僕。つくづく、雪国育ちの方々を尊敬します。しかし、雪があるからこそできることを見出し、動き、表現することもまた雪国らしい姿なのかなと思います。先日行われた大鳥サロンで納豆を作ったり、てんごを編んだり、かまくらを掘ったり雪室をしたり…。生活にハンデがある分、雪国でしかできない豊かな生活に転換できる可能性はあるんじゃないか…。そんなことを思いながら、今年の春は山菜取りにトコトン挑みたい。なんだか、ゼンマイが僕を呼んでいる気がするんですよ…。笑



協力隊、ついに銃所持許可取得！

長かったなあ…。お金かかったなあ…。銃を持つ感慨というよりはこれが素直な感想かもしれません。それぐらい銃を所持するハードルは高く、生半可な気持ちでは持てないものだと思います。

さて、今年の猟期も終わりを迎え猟場で撃つなんてのはまだまだ先の話。まずは自宅でひたすら構えの練習、そして春が来たら射撃場で練習、といったところでしょうか。狩猟者への道程は長いですね。

マガギがどうか精神世界がどうかといった境地にはほんんど至れず、本当にコシを扱えるの？という疑問が自らを支配していますが、こればかりは実地などで経験を積むしかないのかもしれない。

銃所持あたっては多くの皆様方からご協力・ご助言・ご提供をいただきました。本当にありがとうございました。(砂山)

砂山隊員連載コラム「食・住・職」

「雪が少ない」皆さん様に声を揃えます。大鳥ビギナーの僕らのために手を抜いてくれているという説もありますが、少なすぎることの弊害もあったりしてなかなかどうして難しいですね。

一方で関東甲信などでは記録的な積雪を記録し、雪害の様相を呈しています。対処できる許容量を超えてしまったのは確かです。が、別の側面として彼らは動き続けなければならないという呪縛に陥ってしまい混乱に拍車をかけたという気もしています。

雪国に住まう方々を見ていると「動」と「静」のバランスが絶妙だなあと感じる事が多いです。動きすぎる訳でもなく、留まり続ける訳でもない。あ一紙面が無くなりそうなので続きは別の機会に(砂山)

【大鳥サロンin自然の家】

3月13日(木)にそば打ち等を行う大鳥サロンが、社会福祉協議会と合同で自然の家で行われる予定です。

詳しい日時は別途ご案内しますが、皆さんふるってご参加くださいね！

冬でも心と体は熱くなれ！『大鳥地域 冬の運動会』開催！



ソチ五輪が世間を賑わせていますが、大鳥でもオリンピックに負けないくらいのスポーツの祭典が行われました。朝9時に集まり始めた参加者は、ストーブを囲み「寒い寒い…」と手足を温めるが、競技が始まれば血走った目を抑えることができないくらい夢中になって競技に取り組む。その姿はまるで、舞茸の群集を見つけたかのよう…。縄ない競争や餅つきなど、伝統の技を感じる種目の数々に「大鳥だからこそ出来る！」という独自性を感じます。縄を編むように、来年も、再来年も…大鳥の歴史が紡がれていくことを静かに願います。(田口)

大鳥HP『大鳥days』随時更新中
<http://ootoritakitarou.info/>

発行元：大鳥地区地域おこし協力隊
住所：鶴岡市大鳥字寿岡112(大鳥自然の家)

隊員連絡先
砂山隊員：080-5099-5596
田口隊員：090-7757-7491